

39

68

(M)

英領哥倫比亞地方探檢報告

026887-000-3

39-68

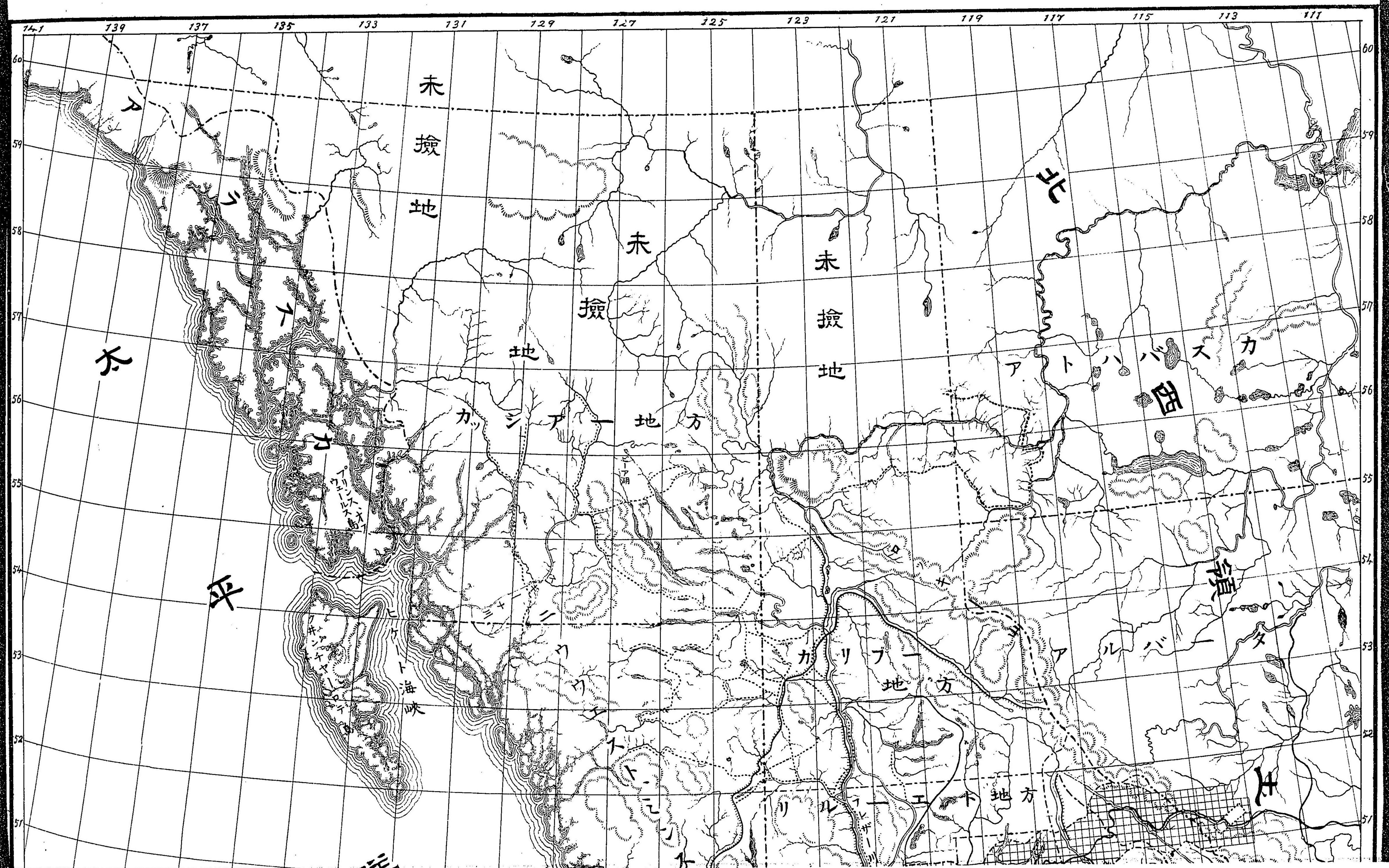
英領哥倫比亞地方探檢報告

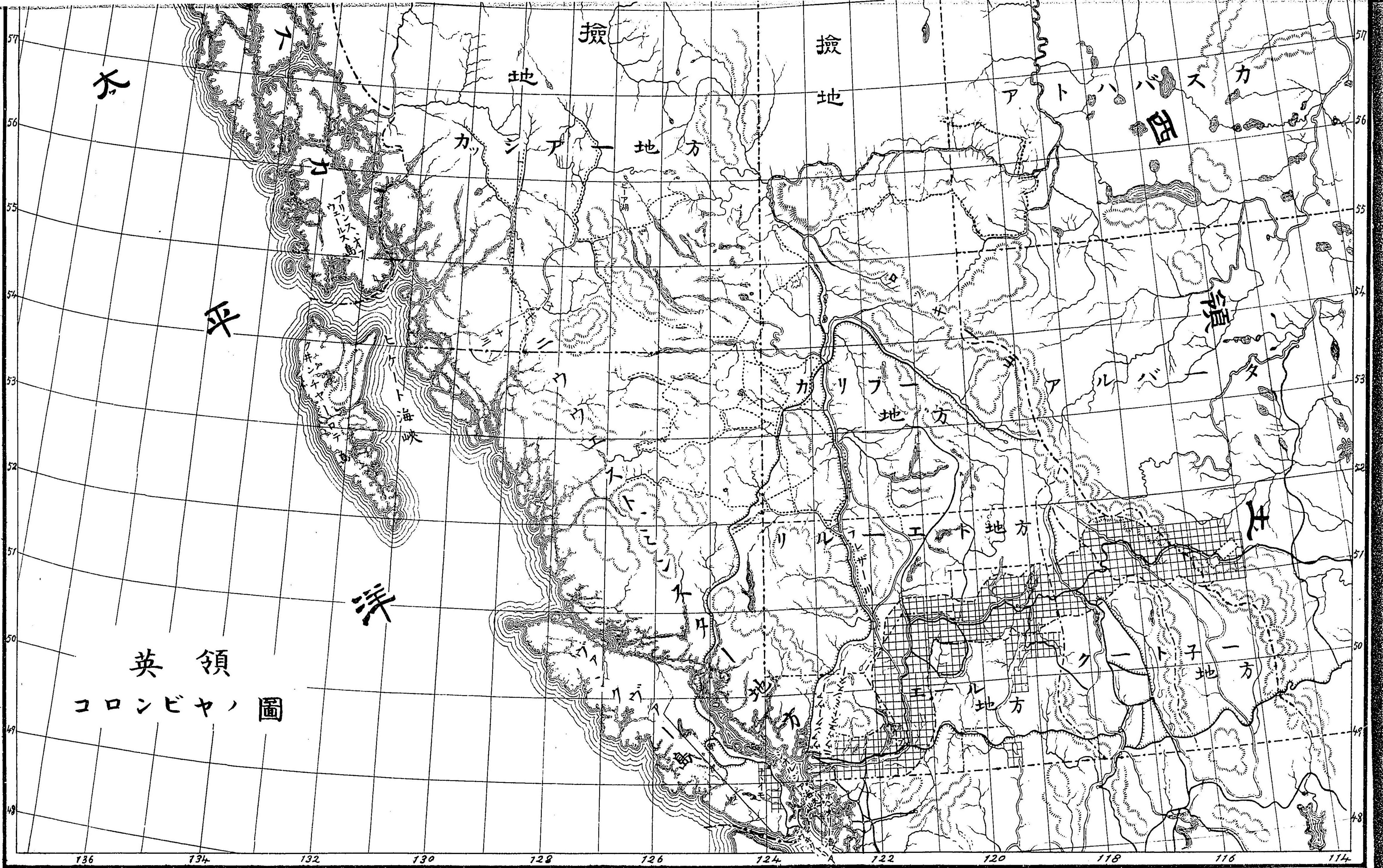
外務省通商局

M27

ADG-0003







英領
コロンビヤノ圖

太

平

洋

檢

地

地

地

アトハバ

島

カシア地方

セント

ピエール

島

ミシ

シ

ン

グ

海峡

セント

ニコ

ラス

地方

カリブ

地方

アルバ

タ

島

地方

セント

エド

地方

セント

地方

セント

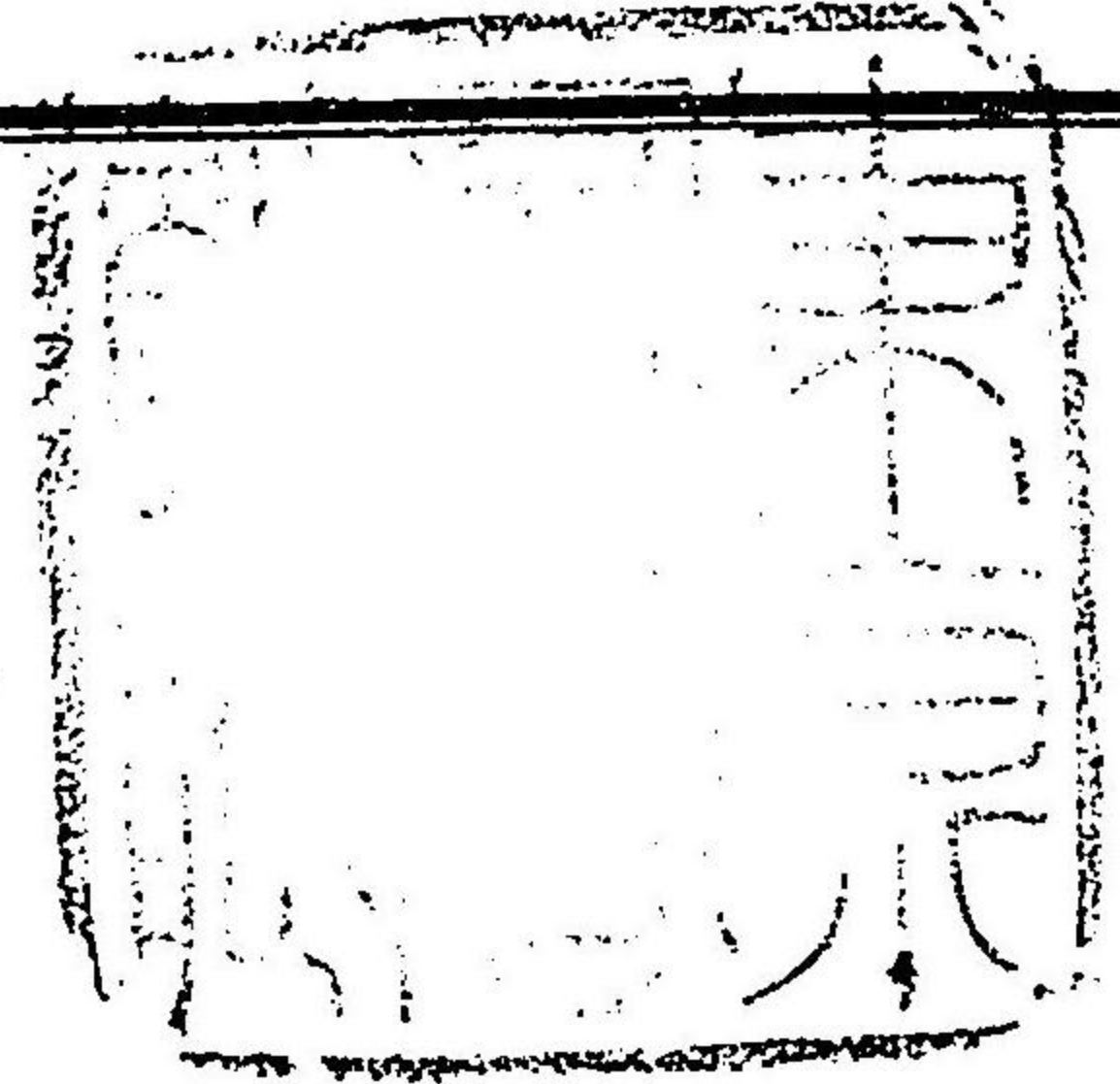
地方

セント

地方

英領哥倫比亞地方探檢報告

此報告書ハ客年中在晚香坡領事館事務代理清水精三郎ニ其管轄地若シクハ其附近地方ニ於ケル本邦人ノ移住若シクハ出稼ニ關スル事項ヲ調査スベキ旨訓令シ同人ハ其自ラ調査シタルモノ及ウヰリアム、マックレネ、一氏ニ囑托調査セシメタルモノトナ併セテ具申シタルモノナリ



英領哥倫比亞地方探檢報告書目錄

第一	調査ノ手續	壹
第二	總 況	貳
	英領哥倫比亞州ノ土壤	三
	全州ノ河川	三
	全州ノ氣候	四
	全州人口及商工業ノ概況	七
	耕作ニ適スベキ土地ノ狀態	十
	當國人ノ日本人移住又ハ出稼ニ關スル感情	十一
	殖民地設立ノ手續	十三
	本邦及當州間貿易ノ現狀及將來ノ見込	十四
	物價及賃錢	十四
	ウリアム、マクレン、氏報告書	十六
	○日本人ノ移住ニ適スル土地	十七
	第二「デルタ、ミューニシバリチー」	十七
	第三「リチモンド、ミューニシバリチー」	十九

第三	ラングレイ、ミューニシバリチー	廿
第四	スルリー、ミューニシバリチー	廿二
第五	チリワック、ミューニシバリチー	廿三
第六	スーマス、ミューニシバリチー	廿四
第七	アガシズ	廿四
第八	スク、ミシ平野	廿五
	○移民地ハ宜シク海岸若クハ河邊ニトスベシ	廿六
	○總 論	廿七
	○氣候地勢商工業ノ概況等	二十八
	○土地ノ價格賣買貸借ノ手續及外國人ノ不動産所有ニ關スルコト	二十九
	○移住民ハ官有地授與ノ手續	三十一
	○財産税ノ要領	三十二
	○各地ニ於テ最モ收益多キ産業	三十四
	第一 鮭漁及鮭罐詰業	三十六
	第二 建築用材製造業	三十七
	第三 採炭業	三十九

第四小船漁業

第五鑛業

○現今日本人ニ對スル當州人民ノ感情及將來ノ傾向

○殖民開設ノ計算

第一例

第二例

第三例

第四例

○建築用材製造會社創立費計算

○鮭罐詰會社創立費計算

○農產物產額及價格表

三十九頁

四十頁

四十一頁

四十二頁

四十三頁

四十四頁

四十五頁

四十七頁

四十八頁

英領哥倫比亞地方探檢報告

第一 調査ノ手續

當加奈陀ニ於テ本邦人ノ出稼又ハ移住ニ適スル土地ノ有無探檢ニ關シ明治廿六年十月十八日附送第七三號ノ訓令ニ接シタレハ全年十一月初旬ノコトナリ時恰モ當地霖雨期ノ初メニ属シ十二月ヨリ二三月ニ跨リ雨雪ヲ見ザルノ日ハ殆ンド稀ニシテ本件ノ如キ出張探檢ヲ要スル事項ノ調査ハ最モ困難ノ時期ナリシ殊ニ在留本邦人中本件ヲ囑托スベキ適當ノ人物ヲ求メントシタルモ當時遂ニ之ヲ得ルコト能ハザリシ依テ再三考案ノ後チ當國人中適當ノモノニ囑托スルノ上策タルヲ信シ之ヲ搜索シタルニ當市々民ウリアム、マ、クレネ、ナル者ハ當國オンテリオ州チークヴルノ産ニシテ少壯大志アリ千八百五十年合衆國カリフォルニア州ニ入り鑛業ニ從事スルヲ數年數千金ヲ得其故郷ニ歸リ農業牧畜鋸材等ノ業ヲ營ミ千八百七十三年選バレテチークヴル市長トナリ千八百七十四年ニハ國會議員ニ當選シ次期ノ選舉ニ重ネテ當選シタリ越テ千八百九十年ニ至リ望テ英領哥倫比亞州ノ將來ニ屬シ家族ヲ率テ當市ニ移住シ尋テ當州ノ山野ヲ跋涉スルヲ數回其地勢風土ヨリ實業ノ現況ニ至ルマデ之ニ通曉スルノ名アリ又全氏ハ德義ニ富ミ日本國ガ短歲月ノ間ニ長足ノ進歩ヲナシタルヲ嘆賞シ其人民ヲ敬慕セリコレ小官ノ相交

リテ親シク知ルトコロナリ依テ本件ヲ囑托スルニ最モ適當ノ人物ナルヲ信
シ之ヲ談シタルニ快ク之ヲ承認シ爾來自家業務(不動産買賣及請負工事)ノ餘力ヲ以テ專
ラ其調査ニ從事シ別冊報告書ヲ提出スルニ至レリ
小官亦實地踏査ノ必要ヲ認メ「リナモンド、ミューニシバリテイ」及「デルタミューニ
シバリテイ」ノ諸耕地ヲ巡回スルコト二日「アガシズ」及「チリワック」地方ヲ巡回ス
ルコト三日土地ノ實況ヲ觀老農ノ談話ヲ聽キ所得少カラザリシ

第二 總況

余ハ「ウリアム、マックレネー」ヨリ提出シタル報告書ヲ翻述スルニ先チ當國總況
ニ付自ラ調査シタル所ヲ記述スベシ
加奈陀ノ國タル土壤頗ブル廣漠東西三千哩以上南北四五百哩面積參百四十
七萬平方哩余ノ多キニ達ス故ニ地方ニヨリ氣候風物ヨリ産業ノ有様ニ至ル
マデ頗ブル懸隔セリ其東部「オンテリオ」「クエベック」等ノ諸州ハ人口稠密農商工
ノ諸業繁盛ニシテ稍古國ノ風アルモ「マニトバ」州ノルウェー、アイスランド、グリーンランド北西地方及英領哥倫比亞州
等ハ新開ニ屬シ人口稀少ニシテ富源遺利人ノ開拾ヲ待ツモノ實ニ少ナシト
セズ出稼又ハ移住ノ事ヲ談スベキハ即チ此地方ニアリトス尤モ「マニトバ」州
及北西地方ハ太平洋海岸ヲ距ルコト何レモ千數百哩氣候モ甚宜シカラズシ
テ夏暑冬寒共ニ劇シキニヨリ本邦人ノ移住ニ佳ナラズ氣候風物交通ノ便否

其他總體ノ得失ヨリ觀察スルニ本邦人ノ爲メニ大ニ方ヲ用ユベキノ地ハ加
奈陀領中英領哥倫比亞州ヲ最上トス是レ今回ノ探檢ヲ當州ニ限リタル第一
ノ理由ナリ

○英領哥倫比亞州ノ土壤

南ハ北緯四十九度ヲ以テ合衆國「ワシントン」「アイダホ」「モンタナ」ノ三州ヲ劃
リ北方ハ北緯六十度ニ達シ西ハ太平洋ニ臨ミ(北部ニ於テ「ハ」ア「ラスカ」ニ界ス)東方南半ハ「ロッ
キー」山ヲ以テ北半ハ西徑百二十度ヲ以テ界ス東西凡四百哩南北凡七百哩太
平洋沿岸ニ於ケル「ヴァンクーヴァー」島「クエンチャー」島其他ノ島嶼之ニ附屬シ
其面積ハ三十四萬余平方哩ト稱ス(或曰四十萬平方哩余然レモ本州ニ於テハ
「ロッキー」「ゴールド」「コースト」ノ三大山脈南北ニ連互シ其間亦無數ノ山嶽丘
陵アリ面積ノ最大部分ハ峯嶺ノ起伏スル所ニシテ處々金銀鐵鉛等ノ鑛物ニ
富ムハ探檢家ノ夙ニ認ルトコロニシテ既ニ其開掘ニ從事スルモノ甚ダ多シ
且河川ニ沿ヒ肥沃ノ平野アリ丘陵ノ間平原ノ土地アリ以テ農耕牧畜ノ業ヲ
營ムニ餘リアルベシ凡ソ温帶地方ニ生ズル産物ニシテ當州ノ地味氣候ニ適
セザルモノハ極メテ稀ナリト云フ

○全州ノ河川

河川中「フレザー」川「スキーナ川」ハ當州ノ産業上頗ブル重要ノ關係ヲ有スル

ニヨリ聊之ヲ畧記センニ

「フレザー川」ハ源ヲ「ロッキー山」ニ發シ西北ニ向テ流ル、コト百余哩曲折シテ南ニ向ヒ中央平原ヲ貫キ三百五十余哩ニシテ「シオルシヤ灣」ニ注グ當州中最モ肥沃ノ農業地ハ此兩岸ニ沿フモノ多シ「リナモンド」、「サルリーセントル」、「デルタ」、「ホールスプリーリー」、「ラングレイ」、「ミスシヨン」、「メーブルリッジ」ナルダアルグローブ、「マウントトレーマン」、「スーマス」、「ケリワック」、「アガシズ」等即是レナリ又河口ヨリ百余哩アル「ホーア」迄ハ汽船ノ往復スルアリ頗ブル交通運輸ニ便ナリ

「ニウウエー」ストミンスター市ハ河口ヨリ凡ニ拾哩ノ處ニアリ全川漁業ノ中心市場ナリトス

「スキーナ川」ハ源ヲ「ビーア湖」ニ發シ西流スルコト二百余哩ヒケート海峽ニ注グ

前記兩大川ハ極メテ魚産ニ富ミ昨明治廿六年中ノ産額「フレザー川」ハ貳百六十五萬弗「スキーナ川」及其最寄ニテ六十五萬弗ナリ「フレザー川」沿岸ニ二十六「スキーナ川」沿岸ニ九ヶ所ノ鮭罐詰所アリ漁期ニ至レバ漁夫及製造人等ヲ合セ六七千ノ人員ヲ使傭スルヲ常トス

○全州ノ氣候

緯度ノ高キ割合ニ比スレバ冬期尙ホ温和ニシテ殊ニ海岸ニ近キ處ハ積雪深カラズ其寒威ハ決シテ戶外ノ業務ヲ妨グル程ニアラズ夏期ハ日頗フル永ク天氣清涼ニシテ最モ人身ニ適ス雷鳴極メテ稀ニシテ曾テ地震洪水颶風等ノ沙汰ヲ聞カス但人ヲシテ最モ不快ヲ感ゼシメ且産業上ノ支障ヲナスコト少カラサルモノハ冬期中ノ霖雨ナリトス此霖雨ハ概シテ十月末又ハ十一月ニ起リ越テ翌年三四月ニ至ル迄日夜降雨快晴無雨ノ日ハ少シ今便覽ノ爲メ左ニ表示スベシ(廿七年五月下旬融雪ノ爲メ「フレザー川」ノ水量俄ニ増シ處々ノ低地ニ氾濫シテ農作物ヲ害シ鉄道橋梁等ヲ放流シ稀有ノ水難ナリト稱ス追テ調査報告スヘシ

五ヶ年間天氣一覽表 (晚香波市調査)

年	天候	降雪日數	降雨日數	半雨日數	曇天日數	快晴日數	合計
明治廿二年		六	三三	八二	四〇	二〇五	三六五
全 廿三年		一三	二七	九二	六一	一七二	三六五
全 廿四年		一四	二五	九七	四六	一八三	三六五
全 廿五年		四	二二	一一七	五六	一六八	三六六
全 廿六年		一四	三五	一一一	三九	一六六	三六五

明治廿六年中天氣月別表 (全上)

月別	月別												月別													
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二														
天候	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	降雪日數	二	七	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一	四	一
降雨日數	三	二	三	五	四	一	〇	〇	一	〇	一	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	
半雨日數	七	三	二	三	五	四	一	〇	〇	一	〇	一	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	
曇天日數	一	七	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
快晴日數	一八	九	一六	五	〇	一七	二一	二六	一八	一三	一八	一三	一八	一三	一八	一三	一八	一三	一八	一三	一八	一三	一八	一三	一八	

明治廿六年中寒暖一覽表 (エスクワイモルト測候所調査)

※零度以下ノ記號

○全州人口及商工業ノ概況

當州ハ加奈侖領中最新開ノ一州ニシテ其人口拾壹萬余ニ過ギズ(内三萬五千人内外ハ印度人支那人ハ九千余人ナルヲ以テ白人ノ數ハ六萬五千余人ナリ)其集散ノ概畧左ノ如シ

- ヱグトリア市 凡貳萬四千人
- 晚香坡市 凡壹萬五千人
- ニウウエストミンスター市 凡七千人
- ナ、イモ市 凡五千人

右ノ外ハ各地方ニ散在シテ漁業伐木農業牧畜鑛業等ヲ營ミ又ハ町村ノ小賣商業杯ニ從事スルモノナリ
 當州商業ノ中心ハ、「ヱグトリア」晚香坡ノ兩市ニシテ「ニウウエストミンスター」、「ナ、イモ」之ニ亞グ「ヱグトリア市」ハ「ヴァンクラーヴ」島ノ東南端ニアリ州政廳ノ所在ニシテ豪商資本家多ク人口凡貳萬四千且山海ノ風景絶佳ニシテ夏時ノ天候極メテ清涼ナルニヨリ來遊ノ人多ク爲メニ市況ヲ潤スコトモ亦少カラズ州内商業最盛ノ地ナリ「ヴァンクラーヴ」市ハ千八百八十六年(明治十九年)ノ創立ニ係リ前記四市中最新ニ屬スト雖モ加奈侖太平洋鐵道ノ終端ニシテ

且加奈陀東洋間及加奈陀濠洲間定期航海船ノ繫泊所ナルヲ以テ過客ノ宿泊及ヒ運輸會社ニ關連セル事業鋸材業等ノ爲メ市街俄カニ發達シ目下人口凡壹萬五千アリ自今漸ク内地ノ人口増加シ取引ノ進ムニ從ヒ首都ヅクトリア市ヲ凌ギ本州最盛ノ中心市場タルニ至ルコト蓋シ疑ヒナカルベシ又ニウウエストミニスター市ハ晚香波ノ東十二哩ニ在リフレザ川ニ沿ヒ漁業及農産物ノ中心市場タリナ、イモ市ハヴァンクトウアイ島ノ東面ニアリ首都ヅクトリア市トノ間鐵道アリテ其距離七十八哩當州ノ重要産物タル石炭ノ中心市場ナリトス又四市ノ間何レモ水路相通シ毎日定期船ノ往復アリ

左ニ明治廿六年中前四港輸出入品ノ價額ヲ掲ゲ參考ニ供スベシ

明治廿六年中英領哥倫比亞州輸出入額一覽表

港名	輸出高	輸入高
ヅクトリア	三五七〇、二六四	三〇五四、〇二七
ヴァンクトウアイ	七三七、二六五	一、三五八、四二四
ニウウエストミンスター	八三〇、五〇一	五九三、四五二
ナ、イモ	二、一七六、三〇七	二七七、一七五
合計	七、三一四、三三七	五、二八三、〇七八

又輸入物價額中農産物一大部分ヲ占ムルコトハ農業ノ目的ヲ以テ移住セン

トスルモノ、最モ注目スベキ事柄ナリトス明治廿四年六月末ニ終ル一週年度中農産物ノ輸入高ハ百九十萬弗余ニ過ギザリシニ其翌年度ニハ二百六十六萬弗弱ニ進ミタリ今之ヲ類別シテ之ヲ示スベシ

牛馬羊豚其他畜類	三二五、〇七三 ^弗
生又ハ鹽附燻製等肉類	五三八、三五八
穀類及粉類等	六九四、八二〇
菓實及蔬菜類	二一三、五六四
脂油類	三四、七八八
牛乳産物	四九二、八三一
鶏卵	一〇二、六一〇
其他雜品	八一、四九六
合計	二、四八三、五四〇
右ニ對スル關稅	一七六、一五八
總計	二、六五九、六九八

前記ノ農産物ハ概シテ當州ノ地味氣候ニ適セザルモノナク之ヲ生産シテ何レモ相應ノ收益アルベキ品種ナルニヨリ茲ニ州内農業獎勵ノ必要ヲ認メ地方政府ノ當局者ヲ初メ民間有志者モ頻リニ之ヲ唱導セリ當州ニ於テ右ノ如

ク農業發達ノ遲緩ナリシハ新開地創業ノ常態ニシテ鑛業漁業伐材等眼前厚利ノ事業ヲ主トシ着實ナレモ収利ニ緩漫ナル農業ニハ着眼スルモノ少カリシニ因ルト云フ

今工業其他産業ノ景況ヲ一言センニ所謂製造業ハ概ネ州内ノ需用ニ供スルニ止マリ進ンデ外國輸出ヲ目的トスルガ如キモノ稀ナリ當州輸出品ノ重要ナルモノハ鑛物重モニ水産林産等所謂粗製品ナリ左ニ三ヶ年間輸出品ノ種類價額ヲ表示スベシ

年度	鑛物	水産	林産	動産及其生産	農産	其他雜品	合計
明治廿四年度	二、九三〇、二二九	二、二七四、六八七	三、七四、九九六	二、九四、六四六	五、〇一六	二〇、四三四	六、二五七、一五八
明治廿五年度	二、九七九、四七〇	二、三五一、〇八三	四、二五、二七八	三、九〇、八五四	二五、〇一八	三一、九七六	六、五七四、九八九
明治廿六年度	二、八九八、九四七	一、五〇一、八三二	四、五四、九九三	三、〇、六二二	三〇、一七三	四、四六、二三一	五、六四二、七九七

○耕作ニ適スベキ土地ノ状態

小官ノ實視シタルトコロニヨレハ當州内耕作ニ適スベキ土地ノ状態ハ二種ニ大別スルヲ得ベシ第一低地第二林地是ナリ低地ハ「フレザ」其他河川沿岸地中低濕ノ草原ニシテ樹木ナク地味頗ブル肥沃ナルモ排水又ハ堤防等ノ工事ヲ要スル個所多シ林地モ亦肥沃ノ處多ク排水隄防等ノ煩ヲ要セザル代リ

ニ伐木除根ノ上ナラデハ耕耘スベカラズ(但水邊ニ近ク運搬ニ便ナル處ハ薪材又ハ建築材トシテ其伐木ヲ相應ノ利益ニテ販賣シ得ベキコト勿論ナリ)右ハ未ダ人工ヲ加ヘザル土地ノ種類ヲ舉示シタルモノニテ賣買地價ハ土地ノ良否ト市場ノ遠近ニヨリ「エリカ」我四段十八步余ニ當ル拾弗内外ヨリ五六十弗ノ間ヲ上下ス又低地ニシテ排水堤防等ヲ設ケ林地ニシテ伐木除根ヲ經直チニ耕耘スベキ土地ニテ買得シ得ベキモノ少カラズ此類ノ土地ハ地質ノ肥瘦耕耘ノ便否又ハ市場ノ遠近ニ隨ヒ「エリカ」五六拾弗ヨリ百弗内外ニ至ルヲ通例トス

○當國人ノ日本人移住又ハ出稼ニ關スル感情

目今當州在留ノ本邦労働者ハ殆ンド八九百人概シテ賃銀ヲ目的トスル出稼人ニシテ定住興産ノ志アルモノハ絶無稀有ノ有様ナリ赤手賃銀是レ求ムルノ労働者ハ白人中既ニ過多ニシテ加之支那労働者ノ當州ニ出稼居ルモノ實ニ九千余人粗衣粗食低賃ニ甘シ自國ノ風俗習慣ヲ墨守シ出來得ル丈ケノ貯金ヲ本國ニ送ルノ故ヲ以テ既ニ當國人ノ嫌惡スルトコロトナリ法律ノ力ヲ借リ其移住ヲ制限セリ

加奈陀法典支那人ノ移住ニ關スル條例第五條ハ加奈陀ニ向テ支那移民ヲ運搬スル船舶ノ毎五拾噸ニ付一人ノ割合ヲ超過スルヲ許サズ其第八條ハ

支那移民ノ入國ニ際シ一人ニ付米金五拾弗ノ入國稅ヲ賦課ス
殊ニ白人勞働者ハ支那人ヲ視テ勞働市場ノ勁敵トナスニヨリ常ニ其移住ヲ
制限シ就業ノ區域ヲ縮少センコトヲ謀リ市町ノ公會又ハ州會議員等ニシテ
勞働者ニ左袒スル者モ少カラザルニ至レリ
幸ニ本邦人ニ對シテハ法律上ニ於テ特別ノ取扱方ヲ立テタルモノナキモ賃
錢ノミヲ目的トスル日本出稼人ニ至リテハ固ヨリ恒産恒心アルニアラズ生
計ノ程度至テ低ク良風美俗ヲ乱ルノ恐レアリ且白人勞働者ノ敵手タルコト
支那人ニ比シ軒輊スル所ナシトノ感情漸ク増加スルモノ、如シ故ニ此種ノ
出稼人ハ勞働市場既ニ需用少キノミナラズ且其渡航ハ益當國人ノ感情ヲ傷
フベキニヨリ可成丈之ヲ制限スルヲ良策トス
然レモ相應ノ資力ヲ齎シ地ヲ拓キ產ヲ興シ以テ當國ニ定住セントスル所謂
眞個ノ殖民ニ至リテハ全ク前記出稼人ト異ナリ當國人ノ頻リニ獎勵シテ誘
致セント欲スル所ナリ肥沃ノ土壤豐富ノ鑛坑斧斤未ダ入ラザルノ林網罟猶
張ルベキノ水ニシテ事業家ノ開拓ヲ待チ居ルモノ實ニ少カラズ當國人ハ外
國資本家事業家ノ來テ之ヲ開拓セントスル者ヲ歡迎スベシ拓地殖民ノ道之
ヲ擱テ他ニ求ムベカラザルヲ以テナリ「ウリアムマクグレネ」氏ノ報告書中本
邦人ノ移住ヲ渴望スルノ色アルハ即チ此種ノ殖民ニ屬セリ

○殖民地設立ノ手續

殖民興産ノ利益計算ハ載セテ「ウリアムマクグレネ」氏ノ報告書ニアリ又相當
ノ資力アル事業家ノ移住當州ニ歡迎セラルベキコトハ前記ノ如シ當方ノ事
情ハ前途多望ナリト謂フベシ依テ茲ニ殖民地設立ノ實施手段ヲ案ズルニ會
社又ハ組合ノ組織ヲ以テ相應ノ資本ヲ集メ一面ニハ英語ニ通シ目論見ノ事
業ニ鍛鍊ナル者ヲ撰擇シテ其事業ノ管理者ニ任ジ之ヲ實地ニ派遣シテ土地
ノ購入ヲ始メトシ移民住家農舍等ノ建築其他萬般ノ準備ヲ立テシメ他ノ一
面ニハ可成妻帯ニシテ多少ノ資力アリテ少クトモ十年以上移住ノ志アルモ
ノヲ募集シ殖民地ニ於ケル萬般ノ準備整頓スルヲ待チテ家族ト共ニ之ヲ渡
航セシムベシ其移民來着ノ上ハ所謂殖民地管理人ハ起居飲食其他產業上必
用ナル器具等ノ調度ヨリ生産ノ選擇執業ノ方法產物ノ賣却等外國人ニ交渉
スル事柄ハ勿論其他殖民不慣ノ事ハ一切指導ノ責ニ任シ殖民ヲシテ安心業
務ニ勉勵シ其所得ノ餘剩ヲ以テ各自ノ土地家屋其他會社ノ設備シタル物件
ノ代償ヲ辨納セシメ以テ會社及殖民共互ニ收益ヲ全フセシムベシ「マクグレネ
」氏ノ計算ニヨレバ右ノ方法ニヨリ會社ハ拂込資本額ニ對シ八朱ヨリ壹割
内外ノ年利及元金ヲ收メ殖民ノ各家族ハ十年間ノ勉勵ヲ以テ數千弗ヲ貯蓄
シ得ルコト難事ニアラザルヲ信ズト明言セリ

○本邦及當州間貿易ノ現狀及將來ノ見込

當州ハ前章既ニ述ブル通り加奈陀領中最新開ノ一州ニシテ人口未タ十一萬餘ニ過ギズ故ニ現今當州及本邦間ノ貿易極メテ少額ニ止マルハ固ヨリ怪ムニ足ラズト雖モ其金額ハ年々増加セリ當地商人ノ貿易ニ統キ其金高ハ少キモ實ニ其取引ヲ四海各邦ニ通ズルコト驚クニ餘リアリ近ク一例ヲ舉ンニ東洋諸國ノ米又ハ茶濠洲ノ羊肉菓物等普通勞働者朝夕ノ食卓ニ上ルハ人ノ見テ常トナス所ナリ其他推シテ知ルベシ現ニ本邦雜貨及絹製品ノ類ハ勿論密柑ナドモ期節ニ臨メバ盛ニ輸入アリ又本邦在留人ノ増加スルニ隨ヒ米味噌醬油漬物乾物等ノ輸入モ漸ク増加ノ勢アリ英人ハ曰ク貿易ハ國旗ノ行ク處ニ追從シテ進ムト移住殖民ガ貿易増進ノ先導ヲナスコト古今實例ノ示ス所若シ適當ノ方法ヲ立テ本邦人ノ殖民地ヲ當州ニ開クニ至ラバ兩國間ノ貿易將來増加ノ勢アルコト疑ナ容ルベカラズ過去三年間本邦及當州間取引ノ金額ハ左ノ如シ

英領哥倫比亞州へ輸入	明治廿四年度	明治廿五年度	明治廿六年度
日本へ輸出	明治廿四年度	明治廿五年度	明治廿六年度
	六、一九二一	八〇、八九五	九七、四七八
	一六、五六一	二六、三七五	二六、九三一

○物價及賃銀

更ニ一事ノ注意ヲ要スルハ我邦ニ比スレハ生計ノ程度高キハ勿論物價一般ニ高直ナルノ一事ナリ之ヲ例示センニ

一 白米	壹英斤	五仙	ヨリ七仙	一 牛肉	壹英斤	七仙	ヨリ十八仙	一 羊肉	壹英斤	十五仙
一 牛乳	六合	十仙		一 茶	壹英斤	廿五仙	ヨリ五十仙	一 白砂糖	壹英斤	五仙
一 麥粉	壹英斤	三仙		一 紙卷烟草	十本	十仙		一 ホイスキ	凡六合	壹弗

前ニ示スガ如ク各種一物壹品ノ價ハ格別高キニアラザルモ一般人民淡泊ナル粗食ニ甘ンゼズ滋養且甘美ノ食物ヲ要スルガ故ニ生計ノ費用高ク普通勞働者ノ食費一日一人前五六十仙ヲ費スヲ常トス又農夫普通ノ賃銀左ノ如シ

日給食事付	月給全上	年給全上
白人	壹弗半内外	三百弗内外
支那人	壹弗	二百弗内外

又食費ハ通常白人一日五十仙支那人一日廿五仙ノ見積ナルヲ以テ被傭者自ラ食事ヲ辨ズレバ右ノ割合ニ給金ヲ増スハ勿論ナリ又熟練ヲ要スル勞働者即チ大工煉瓦積鍛冶師等ノ賃銀ハ農夫ニ比シ二倍若クハ三倍ニ至ルモノアリ以上記述スルトコロ固ヨリ事ノ概要ニ止マルト雖モ移住殖民ニ關シテ參照ニ供スベキ事項ハ畧ボ之ヲ悉セリト信ス依テ以下ウリアム、マクレネー氏ノ

ウリアムマククラチー氏報告書譯本

當英領哥倫比亞州へ日本人ノ移住殖民ニ關シ調査報告スベキ旨貴下機密ノ指揮ニ從ヒ各事ノ問案ニ對シ茲ニ報告書ヲ提出ス
貴下ノ問案ハ左ノ如シ

- 一 英領哥倫比亞州中外國人ノ移住又ハ殖民ニ適當スル場所ノ有無若シアラバ其所在
- 二 右各地ノ地勢、風土、氣候、灌漑、若クハ排水ノ便否、市場ノ遠近、交通運輸ノ便否、及商工業ノ概況
- 三 農作地ノ價格、土地賣買、貸借ノ手續、土地所有ニ關スル成法、法律規則中外國人ノ不動産所有ニ關スル特別法ノ有無、若シアラバ其要件
- 四 移住民へ官有地授與ノ手續
- 五 動産不動産課税ノ要領
- 六 各地ニ於テ如何ナル産業最モ利益多キヤ此等ノ産業ヲ營ムニ必要ナル資本ノ金額ハ幾何實例ヲ擧ゲ之ヲ示スベシ
- 七 現今日本人ニ對シ當州人民ノ感情ハ如何又今後多數ノ日本人當州ニ

移住スルニ至ラバ如何ナル意嚮ニ傾クベキヤ

八 各地ニ於テ壹エーカー毎ニ農産物ノ平均産額及物産ノ市價

問題ニ入ルニ先チ一言スベキコトアリ即チ余ノ答案ハ此報告書ニ載セタル地方ニ就キ自身ノ觀察及知見ヲ主トセリ又當州ニ永住シ經驗ヲ積ミタル士人等ノ意見ヲ叩キタルニ貴國人民當州ニ移住シ農業、産菓、牧畜、漁業、鋸材、又ハ石炭採掘等ニ從事スルハ吾人ノ一致贊同スル所ナリ又余ノ擧示スル場所ハ總テ「ウエストミユスター」地方一名「フレザー川平野」中ニアリテ何レモ當州商業ノ中心タル「ヴァンクレーヴァー」市ヨリ六拾五哩以外ニ出デス
扱余ハ移住ニ適當スル場所ヲ最モ利益厚シト認ムルモノヨリ始メ順次列記シ次テ其事由ニ及ブベシ

日本人ノ移住ニ適スル土地

第一 「デルタ、ミューニシバリチー」

當所ハ重モニ平野ニシテ位置極メテ宜シ北ハ「フレザー川」ニ界シ西ハ「シオーシヤ海」ニ臨ミ南ハ「ボンダリー灣」及ビ合衆國「ワシントン州」ニ接シ三面舟楫ノ利アルモ尙ホ海颶ノ防備リ河海ハ魚ニ富ミ夥多ノ魚肉罐詰所アリ氣候濕潤ナルモ寒氣ハ曾テ零點ノ下ニ降ラズ又暑氣ハ華氏寒暖計八十五度ノ上ニ昇ルコトナシ

當所ノ土地ノ面積凡ソ四萬五千「エーカー」アリ地味極メテ肥沃ナルコト亞米利加州中第一等ニ位ス當所ノ土地ハ總テ既ニ民有ニ歸シタルモ其耕作地ハ壹「エーカー」ニ付拾五弗ヨリ百弗迄ノ價ニテ買收スルコトヲ得ベシ即チ土地ニ加ヘタル改良工事ノ有無多寡ニ從ヒテ其價格ニ相違アリ尤モ未ダ改良ヲ加ヘザルノ土地モ樹木ナク犁鋤ニ妨ダナキモ或部分ニ於テハ堤防溝渠ヲ設クルノ必要アリ穀類、藜稈、ホップス、蔬菜、菓物等豐穰繁茂セザルナシ

當所ニ於ケル產物ノ生産額ハ實ニ異數ノモノアリ藜稈ハ一「エーカー」三噸ヨリ三噸半小麥ハ三「ブッシェル」ヨリ六「ブッシェル」燕麥七十五乃至九「ブッシェル」大麥四十乃至六十五「ブッシェル」ニ至リ燕菁胡蘿蔔亞米利加防風甜菜等八百乃至千二百「ブッシェル」馬鈴薯二百乃至四百「ブッシェル」ア多量ニ達シ客年全地方ニ開キタル農產物競進會ニハ四十英斤以上ノ重量アル燕菁ノ出品ヲ見タリ地質ハ黑色ノ肥土深ク其底ハ粘土ナリ道路ノ設ケ備ハリ「フレザー川」「シシア海」舟楫ニ利シ運搬ノ費用ヲ低廉ナラシム當所ハ「フレザー川」中魚肉罐詰業ノ要樞ニシテ當所及北隣「リチモンドミューニシバリチー」中ニ二十箇ノ罐詰所アリ土地稍低濕ナルモ溝渠ヲ設ケ排水ヲナスコト難カラズ又余ノ列擧スベキ場所中一モ灌溉ヲ要スルモノナン

此「ミューニシバリチー」ハ當州商業ノ中心タル「ヴァンクラーヴァー」ヲ距ルコト僅カニ

十二哩ニ過ギズ且水運ノ便極メテ宜ク小蒸汽船常ニ當地及「ヴァンクラーヴァー」市間ヲ往復シ運賃壹噸ニ付壹弗ニ過ギズト雖移民ニシテ其產物ヲ運ブベキ小舟ヲ備ヘバ右ノ運賃ヲ省クコトモ容易ナリトス

譯者云州政府發兌最近年報ニ依ルニ當所ニ於ケル農產ノ統計左ノ如シ

(以下譯者附記農產統計ト畧記スベシ)

既耕地	一〇、〇〇〇「エーカー」
穀類產額	六、〇〇〇噸
藜稈產額	一〇、〇〇〇噸
根菜產額	一、二〇〇噸
菓物產額	一〇〇噸
牛現在數	二、〇〇〇頭
馬現在數	一、〇〇〇頭
羊現在數	六〇〇頭
豚現在數	五〇〇頭

第二「リチモンドミューニシバリチー」

「ハフレザー川」及「シシア海」ニ面スル「及シ」ノ兩島ヨリ成リ其面積四萬「エーカー」粘土上ニ聚積シタル肥土沃地ナレバ其生産力ニ富メルコトハ殆ン

ド用エテ盡クルコトナカルベシ此地亦平野ニシテ四面水ヲ環ラシ橋梁アリ
 テ本州ニ通ジ「ヴァンクローヴァ」市ヲ距ルコト僅カニ五哩ニ過ギズ其土地ハ既ニ
 皆民有ニ歸シタルモ位置ノ良否ト改良工事ノ多少ニ隨ヒ壹「エーカー」ニ付拾
 五弗乃至百弗ヲ以テ其耕地ヲ買收スルコトヲ得ベシ改良ヲ加ヘザル土地モ
 概ネ大樹高木ナク間々耕作ニ先テ除却セザルベカラザルノ藪林アルノミ土
 地重モニ低濕ナレモ溝渠堤塘ヲ設ケ乾燥セシムベク數條ノ良路アリテ「ミュー
 ニシバリナ」ヲ貫通ス
 其土地ニハ各種ノ穀類ホ「プス」藜、各種ノ蔬菜適セザルモノナク温帶地方ニ
 於テ生熟スベキ菓物ハ何レモ豊熟シ一層低濕ノ部分ハ殊ニ牧畜乳産ニ適當
 ス余ノ既ニ「デルタ」ノ生産ニ就キ記述シタルモノハ何レモ茲ニ移用スルコト
 ナ得ベシ

第三 「ラングレ」、ミューニシバリナ」

ハ當州「ミューニシバリナ」中最早最重ナルモノ、一ニシテ「フレザ」川ノ南岸
 ニ沿フコト拾哩土地凡六萬五千「エーカー」アリ「ニウウ」スト「ニス」タ「市」ヨリ
 ハ二十五哩「ヴァンクローヴァ」市ヨリハ四十哩ヲ隔ツ両市ト當所間ハ日々ノ船便
 アリ地質ハ甚肥タル沃土(Loam)ニシテ其底ハ粘土ナリ
 其地所ハ平野多ク其他ハ疎林譯者云當州ノ土地ハ大樹喬木ヲ以テ蔽ハル、

所多ク稱シテ密林ト云フ疎林ハ密林ニ對スル區別ニシテ比較上樹木短少ニ
 シテ藪茂セザルモノヲ云フナレモ少額ノ費用ニテ開墾スルヲ得ベシ
 温帶地方ノ産物ニシテ此土地ニ適セザルモノナク且此地方ハ小農ヲ營ムニ
 宜シ其一部分ハ殊ニ乳産及牧畜ニ適當セリ其民有地ハ位置ト改良ノ程度ニ
 隨ヒ拾弗乃至六拾弗ニテ買收スルヲ得ベシ穀類、ホ「プス」、藜、蔬菜、菓實共最大
 ノ産額ニ達ス
 此「ミューニシバリナ」亦良路ヲ設ケアリ

譯者附記農産統計

既耕地牧場共	一〇、〇〇〇「エーカー」
穀類産額	二、〇〇〇噸
藜産額	二、五〇〇噸
根菜産額	六〇〇噸
菓物産額	三〇噸
牛現在數	二二〇〇頭
馬現在數	五〇〇頭
羊現在數	五〇〇頭
豚現在數	七五〇頭

第四 「スアリー、ミーニシバリナー」
 ハ「ラングー」及「デルタ」ノ間ニ夾マリ北ハ「フレザ」川ニ沿ヒ南ハ合衆國ニ接ス
 此「ミーニシバリナー」ノ中ニハ既ニ「ホールスプリーリー」「クロヴァルレヴァルレー」及「マド
 ベー」トテ三個ノ繁盛ナル部落アリ面積ハ七萬五千「エーカー」良路貫通且數條
 ノ小流アリテ排水ニ便シ土地ハ平野樹林相半ス地味肥沃蔬菜ノ繁茂實ニ驚
 クベシ穀類葛秣ホップス蔬菜菓實乳產牧畜等ノ産業何レモ繁榮セリ
 其賣買地價ハ壹「エーカー」ニ付キ拾弗乃至五拾弗平野ノ内溝渠ヲ要スル處ハ
 一小部分ニ過ギズ「ヴァンクローヴァー」市ヲ距ルコト二十哩「フレザ」川上日々漁船
 ノ便アリ

譯者附記農產統計

但「スアリーセンダー」及「ホールスプリーリー」ノ二部落ノ分

- 既耕地 二七七一〇「エーカー」
- 穀類產額 八三五噸
- 葛秣產額 一〇五〇噸
- 根菜產額 一八二噸
- 菓物產額 六噸
- 牛現在數 一二五二頭

- 馬現在數 二九六頭
- 羊現在數 四八〇頭
- 豚現在數 五〇三頭

第五 「チリワックミーニシバリナー」

ハ「フレザ」川「フ南合衆國境ノ北ニ横ハ」面積拾萬「エーカー」アリ林檎、梨子、梅
 實、各種ノ蕪實、ホップス、葛秣、蔬菜、其他一般農產上此地方ニ優ル土地ハ稀レナル
 當所中ハ良路貫通シ又「ニウウエストミニスター」四十一哩「ヴァンクローヴァー」六十ノ両市
 ト日々ノ船便アリ土地ハ重モニ平野ニシテ些少ノ排水ヲ要ス
 此地方ハ乳產及飼豕ノ一良地タリ「バター」及「豕肉」ハ常ニ地方諸市ニ於テ需用
 多キヲ以テナリ
 土地ハ總テ民有ニ歸シタレモ「エーカー」ニ付拾弗乃至百弗ニテ買収スルヲ
 得ヘシ

譯者附記農產統計

- 既耕地 七〇〇〇「エーカー」
- 穀類產額 一五〇〇噸
- 葛秣產額 五〇〇〇噸

根菜産額	二、〇〇〇噸
牛現在數	三、〇〇〇頭
馬現在數	二、二〇〇頭
羊現在數	五〇〇頭
豚現在數	四〇〇〇頭

第六 「スーマスミニーニシバリナー」

是亦合衆國々境上「フレザー川」ノ間ニ横ハリ面積凡七萬五千「エーカー」アリ水陸ノ運輸共ニ便ナリ其土地ノ一部分ハ平野ニシテ其他ハ樹林ナク平野ノ内一部分ハ排水ノ要アリ土壤頗ブル肥沃ニシテ穀物、ホップス、莧稈、蔬菜、菓實、畜産等温帶地ノ産物ニシテ當所ノ土地ニ適セザルモノナシ

第七 「アガシズ」

ハ「ラシザー川」ノ北岸ニ横ハリ「ヴァンクローグー市」ヨリ六十五哩ニ「ユーストミニスター市」ヨリ五十哩アリ兩市ト日々汽車汽船ノ便アリ其面積凡ソ四萬五千「エーカー」亦頗ブル肥沃ニシテ...

當所ニ中央政府所屬ノ農産試驗場アリ試驗田ノ廣サ五百「エーカー」アリ温帶地ノ菓實、蔬菜、莧稈、ホップス、動物林樹及熱帶地方ノ若干ヲ試驗ス

當所ノ地味ハ肥沃ノ聚積土ニシテ一部分ハ平野ニシテ一部分ハ樹林ナリ土

地ハ皆民有ニシテ繁榮ナル農家ノ土着シタルモノ少カラズ排水ヲ要スル處アルモ容易ニ之ヲ施シ得ベシ又其土地ハ地味、位置、改良ノ多少、交通ノ便否ニ從ヒ壹「エーカー」ニ付十五弗乃至百弗ニテ買收スルヲ得ベシ

譯者附記農産統計

既耕地	一、〇〇〇「エーカー」
穀類産額	三〇〇噸
莧稈産額	二、〇〇〇噸
根菜産額	三〇〇噸
菓物産額	六噸
牛現在數	八〇〇頭
馬現在數	一〇〇頭
羊現在數	四〇〇頭
豚現在數	二〇〇頭
ホップス耕作地	六〇「エーカー」

第八 「スクァミン平野」

ハ「ハウサウンド」ノ灣頭ニアリ「ヴァンクローグー市」ノ北凡五拾哩其土地樹林多シト雖開墾シテ以テ農作地トナスベキモノ拾五萬「エーカー」以上アリ其樹林ノ

或部分ハ赤楊(Alder)楓樹(Vine Maple)等疎生シ開墾ノ費用壹エーカーニ付拾弗乃至貳拾弗ナルベシ又其他樹木繁密ノ部分ハ開墾費頗ブル多額ヲ要スベシ地味ハ粘土底上肥沃ノ聚積土ニシテ菓物、蔬菜、葛稜、ホップス、穀物、畜産等何レモ適當セザルナシ

此地方ニハ移住民ニ授與スベキ官有地ノ尙殘存スルモノアリ然レモ多クノ部分ハ既ニ民有ニ歸シタリ賣買地價ハ「エーカー」ニ付五弗乃至貳拾弗ナリ當所及「ヴァンクラー」市間ニハ定期ノ小汽船便アリ又「スクァミシ川」ハ此平原ヲ貫通シ河口ヨリ二十余哩ハ小舟ヲ行ルコトヲ得

移民地ハ宜ク海岸若クハ河邊ニトスベシ

余ハ既ニ「ウエストミニスター」地方トシテ知ラル、處ニ於テ「フレザー川」及「シア海」ニ沿ヒタル重要ノ町村ヲ列記セリ此地方ニ尙ホ幾千ノ村邑アリト雖余ノ見ルトコロニテハ何レモ前記ノ町村ニ劣ルベシ案ズルニ貴國人民ハ内地ヨリモ寧ロ海岸若クハ河邊ニ地ヲトシ移住スルヲ可トス其理由左ノ如シ第一海岸若クハ河邊ナレバ密接ニ住居シ得ラル、ニヨリ社交上ノ便宜アリ第二本州ノ重立タル市場ニ近シ第三移民自ラ其產物ヲ「ヴァンクラー」
「ウエストミニスター」
「ヴァクトリア」
「ナナイモ」等ノ市場ニ運搬シ得ルノ便宜アルニヨリ運輸會社ノ制束ヲ蒙ル憂ナシ第四本州中他ノ部分ヨリハ商工業ノ便宜

多シ第五木材其他建築用品、飲食物、金物衣服等日用品ノ價格内地ヨリモ低廉ナリ第六或ハ農業ニ或ハ乳産乾酪製造ニ或ハ菜園、伐木、採炭、漁業等諸般ノ業務ニ從事シ得ルノ便宜アリ殊ニ此邊ハ本州魚類確詰業ノ中心ナルヲ以テ漁期ニ臨ミ多數ノ人員備役セラル、ナラン

總論

(原文ニハ英領哥倫比亞州ノ廣袤ト題スルモ其實全體ニ關係アル記事ナルニヨリ譯者之ヲ改メタリ)

當州ノ土地ハ頗ル廣濶ニシテ其面積ハ四十萬平方哩即二千五百萬「エーカー」ニ達シ只「フレザー」
「スクァミ」其他沿海平野ト沿岸島嶼ノ平地トノミニテモ二百萬「エーカー」以上ノ良地アリ又「ヴァンクラー」島内農耕ニ適スル地ハ三百萬「エーカー」
「チルコナン」(譯者云フ「ヴァンクラー」市ヲ距ルコト凡四百哩内凡二百哩ハ加奈陀太平洋鐵道其餘ハ馬車道ニ由ルヲ順路トス)ニ於テハ六百萬「エーカー」其他内地廣大ナル牧野ノ外ニ「オカナガン」
「スバラムナイン」
「ニコラ」
「ホワイトリヴァー」
「ネチャコ」等ノ平原モ亦數百萬「エーカー」ニ達スベシ然レモ當州ノ現狀ハ他州ノ如ク大農適當ノ場所ニアラズ勿論地味及氣候ノ上ニ於テハ加奈陀領内ノ他所及温帶地方ニ於テ生産シ得ベキ動植物ニシテ當州ニ適當セザルナキモ其他ノ事情未ダ大農ノ經營ヲ利トセザルナリ故ニ宜ク田圃ノ規模ヲ小ニシ諸種ノ穀類、葛稜、菓物、蔬菜等ヲ豐熟セシメ追テホップ

ス糖甜菜 (Sugar Beet) 花椰菜 (Cauliflower) 亞麻植木類等ニ及ボスナ利アリトス又穀果ノ平均産額ニ至リテハ加奈陀領内他州ノ最良地ニ勝ルベキモ耕作ニ先チ樹林開墾ノ必要アルヲ以テ耕作地ノ面積ハ他州ニ比シ制限セララル、所アリト謂ハザルヲ得ズ但一旦開墾シテ犁鋤ヲ下ストキハ其生産力ハ亞米利加州中ノ最良地ニ列スベシ余ハ以謂ク當州耕作ニ適スル地ハ自今二十年ノ中ニ概子開墾セラルベク大樹喬木ハ順次伐截シテ日除ケ又ハ裝飾ノ小木之ニ代ルベシ田圃ノ規模ハ東部ノ加奈陀又合衆國ニ比シ小形ニシテ精耕セラレ其地價ハ著シク騰貴スベシ目下ノ現況ニテモ改良ヲ加ヘタル耕地ハ收益ノ割合ニハ高直ナリト云フベカラザルモ東部諸州ニ比スレハ頗ブル高シ此事實ハ今後永ク繼續スベシ現ニ當州ノ最良地四「エーカー」ノ價格ハ東部ノ加奈陀又ハ合衆國ノ最良地百「エーカー」ノ價格ニ相當セリ其故何ゾヤ農家ハ共產物ニ對シニ重ノ保護ヲ有ス第一地域ニ制限アリ第二距離以テ競争ヲ防ゲバナリ今ヤ當州農産物ノ需用ハ迅速ニ増進スルモ州内ノ農家ハ自ラ市價ヲ左右スルノ力ヲ有セリ又當地商工業會議所ノ調査ニヨルニ千八百九十三年當州農産物ノ輸入額ハ二百五十萬弗以上アリ

氣候地勢商工業ノ概況等

當州ノ氣候ハ四月ヨリ十一月迄ノ間頗ブル和煦ニシテ曾テ華氏寒暖計八十

五度ヲ過キズ其中和ナルコト北米大陸中其右ニ出ヅル處ナシ此氣節ニ於テハ草木花卉穀菜等ノ生長頗ル速ニシテ其量至テ豊カナリ(譯者云冬期ハ之ニ反シ霖雨數月ニ渉ル總況中氣候ノ章ヲ參觀スベシ)又余ノ既ニ列記シタル地方ノ地勢ハ概シテ平坦ニシテ雨水ヲ放流スベキ傾斜アリ所謂平原ノ地ニ至リテハ殊ニ然リトス之ヲ概言スレバ疎林地ハ勾配緩漫ニシテ密林地ハ急ナルヲ常トス又其林地ハ概シテ排水若クハ灌溉ヲ要セズ前ニ列舉シタル場所ハ運輸ノ便州中最良ニシテ此邊ニ移住スル者ハ舟楫ノ利ニヨリ自ラ運搬スルノ便アルヲ以テ曾テ運輸會社ノ制束ヲ蒙ルノ憂アルコトナシ

又商工業ノ概況ハ各地トモ大同小異何レモ州中ノ中心市場ニ近ク運賃輕少ニシテ農産市賣ノ便宜ク農家ノ放資ニ對シ巨大ノ收益ヲ生ズルコトナラン

土地ノ價格賣買貸借ノ手續及外國人ノ不動産所有ニ關スルコト位置土質改良ノ程度工事運搬ノ便否等ニ由リ地價ニ高低ノ差アルハ勿論ニシテ前ニ列記シタル地方ノ内ニテ密林地ハ壹「エーカー」ニ付五弗疎林地七弗無改良原地拾弗位ニテ買得ベキモノヲ最低トシ順次上テ百弗内外ニ至ル(所謂改良ハ開墾溝渠等ノミナラズ住家農舍廐屋等ヲモ包含ス)

土地賣買貸借ノ手續ニ關スル當州ノ制度ハ頗ブル簡易ナリ即チ買受人ハ其

土地ヲ踏査シ券証ヲ檢閱シ(所轄登記所ニ至リ容易ニ之ヲ檢閱スルヲ得ベシ)其券証及賣價ヲ満足ナリトスレバ賣渡人ヲシテ賣渡証書ヲ作ラシメ登記所ニ於テ登記ヲ受クレバ則チ其手續全備スベシ土地貸借ノ手續モ亦全様ニシテ地料ノ年額貸借ノ期限其他附帶條件等ニ就キ貸主借主ノ間協議定マレバ証人ノ面前ニ於テ貸借証書ヲ作ルナリ余ハ土地賣渡証書及貸借証書ノ書式ヲ呈シ以テ參考ニ供スベシ

當國ニ於テハ不動産ノ所有ニ關シ支那人ヲ除クノ外外國人ニ對シ特別ノ法律又ハ規則ナク内外國人ニ對シ全一ノ法律ヲ適用スルモノトス

移住民へ官有地授與ノ手續

此手續ハ別冊當州改正土地條例ニ就キ了承セラレンコトヲ請フ簡單ナル報告書中ニ之ヲ具述スルコト容易ナラザレバナリ

譯者云當州ニ於テハ移住民ノ土着ヲ獎勵センガ爲メニ移民ニシテ當國ニ歸化シ州内ニ土着シテ農業牧畜等ヲ經營セントスルモノニハ官有地ヲ授與スルノ制アリ往年此制ニ依リ土地ヲ獲得シ以テ土着シタルモノ少カラズ其後州政府財政上ノ都合ニヨリ大ニ官有地ヲ賣却シタルコトアリテ運輸便利土地肥沃ノ良地即ウリアム、マク、ラネー氏ノ日本人移住ニ最モ適當ナルベシトテ前ニ列舉シタル地方邊ニ於テハ其土地概チ民有ニ歸シタリ

然レモ進ンデ内地ニ入レバ官有地中移民ノ土着者ヲ待テ之ヲ授與セントスル者實ニ多シ但其土地ハ目下ノ狀況ニテハ移民ノ營業又ハ生計ニ不便ナル地方ニ存在スルヲ遺憾トナス右授與ノ法規ハ當州改正土地條例第五條ヨリ第廿九條ニ及ビ其手續頗ル詳密ナリ土地條例ノ原本壹冊此報告書ニ添附スベシ今試ニ授與出願人ノ資格其要件ノ一斑ヲ抄譯スレバ左ノ如シ

一英國臣民又ハ外國人中英國臣民トナルベキ志望ヲ宣明スル十八歳以上ノ家長寡婦又ハ單身者ハ既ニ民有ニ歸シ若クハ土人居住地トシテ劃定シタル土地ヲ除キカスケード山脈ノ東部及北部ニ於テハ三百二十エーカー其他ノ地方ニ於テハ百六十エーカーニ過ギザル土地ノ授與ヲ請求スルコトヲ得(土地條例第五條)

一請求者合法ノ出願ヲナストキハ土地委員ハ貳弗ノ手数料ヲ納メテ其請求ヲ土地臺帳ニ登録シ其証券ヲ發スベシ(全第十二條)

一請求者ハ前項証券記載ノ日ヨリ三十日以内ニ土地占有ノ手續ヲナスベシ占有トハ請求者ノ其地内ニ移住スルヲ云フ(全第十三條及第十四條)

一二年以上請求地ヲ占有シタル者ハ其土地每壹エーカーニ付貳弗五十仙以上ノ價直アル改良ヲ施シタル旨ヲ土地委員ニ證明シ改良証券ヲ申受

クルコトヲ得(全第廿二條)

一 占有者ハ每壹エーカーニ付地價トシテ壹弗宛ヲ土地委員ニ納ムベシ其期限ハ土地臺帳登錄ノ當日ヨリ二年内ニ四分ノ一爾後毎年四分ノ一宛完済迄納附スベシ(全第廿四條)

一 土地改良証券ヲ有シ且壹千エーカー毎ニ壹弗宛ノ地價ヲ完納シタルモノニハ官有地授與証書ヲ交附スベシ(全第廿五條)

當地ニハ測量師ニシテ移住ニ適當スル官有地ヲ探檢シ置キ官有地ノ授與ヲ請求セントスル者ニ指示シ以テ相當ノ手数料ヲ徵スルモノアリ其料金ハ場所ノ便否地味ノ肥瘠等ニヨリ差異アレモ百六十エーカーニ付三四十弗ヨリ五六十弗此外ニ實地檢分ノ旅費ヲ請求スルヲ常トス

財産税ノ要領

當州内ノ不動産動産及所得ハ一定ノ免税物ヲ除キ總テ財産税ヲ課セラルベシ免税物ハ官有財産公共ノ用ニ供スル財産年額千五百弗以下ノ所得農業地ヨリ收入スル所得價格三百弗以下ヲ有スル人ノ動産等ナリ又其稅率ハ左ノ如シ

第一 不動産ノ評價額ニ對シ三百分ノ一

第二 動産ノ評價額ニ對シ二百分ノ一

第三 千五百弗以上ノ所得ニ對シ四百分ノ三

第四 荒蕪地ノ評價額ニ對シテハ通常不動産税ノ外更ニ百分ノ二個半ヲ附加ス

右納期ハ翌年一月二日ナリ若シ前年六月三十日迄ニ納ムレバ左ノ通り低減セラルベシ

第一ハ 二百分ノ一 第二ハ 三百分ノ一 第三ハ 二百分ノ一

第四ハ 百分ノ二

税金怠納處分法ハ左ノ如シ

納稅者税金ノ納入ヲ怠ルトキハ所轄收稅吏怠納者ノ所持セル動産ノ價格辨納ニ足レリト認ムル場合ニ於テハ之ヲ差押ヘ公賣ニ付シ其代價ヲ以テ税金ヲ徵收ス若シ動産ノ價格稅額ニ足ラザル場合ニ於テハ怠納者所有ノ不動産ニ及ボシ之ヲ公賣シテ徵收スルモノトス

譯者云本章徵稅ノ要領ハ探檢者ノ報告簡單ニ失セリト認メ稅法ヲ考索シテ譯者之ヲ補正セリ

又云本章譯述セルモノハ州政府ノ稅法ニシテ未ダ市町村制ヲ施行セザル地方ニ實施セルモノナリ市町内ノ域内ニハ此財産稅法ノ施行ヲ止メ一定ノ制限ヲ設ケテ其自治ニ任ゼリ故ニ各個多少ノ相違アリ

各地ニ於テ如何ナル産業最モ收益多キヤ其産業ヲ經營スルニ必要ナル資本ノ金額幾干實例ヲ擧ケ之ヲ示スベシ

右ハ實際的ニ應答スルニ至難ノ問題ナリトス何トナレバ經營スベキ事業ノ規模如何ニヨリ必要資本額ニ大相違アルベク或事業ニ於テハ僅五六十弗ノ小額ヲ以テ着手シ得ルモノモアルベク又數百數千弗ヲ要スル向モアルベクレバナリ

前ニ列擧シタル地方ハ總テ均シク左ノ業務ニ適當シ其收益頗ブル厚カルベシ即チ小農乳産、乾酪製造、家禽、産菓、穀類、蕪秣、牛馬羊豚ノ飼育等ナリ其價格ハ良馬壹頭百弗ヨリ二百弗牛三十弗乃至六十弗羊五弗乃至拾弗豚肉壹封度七仙乃至十二仙蕪秣壹噸即チ二千封度拾弗乃至拾四弗小麥及燕麥各壹噸三十弗豆類壹噸三十弗乃至四十弗トス

「ホップス」ノ生産ハ殊ニ收益多ク其需用モ亦無限ナルベシ當州ノ地味ハ頗ル其生産ニ適シ壹「エーカー」平均産額ハ乾燥ノ上千二百乃至千五百封度ナリ而シテ其價格ハ壹封度三十仙ヨリ四十仙ナルニヨリ「エーカー」ノ收穫價格ハ二百四十弗乃至四百弗ニ達スベク耕耘及販賣ノ費用ハ「エーカー」五十弗ニ過サルベシ「ホップス」需用ノ市場ハ殆ンド無限ニシテ當州ニ於テ如何ニ多量ニ之ヲ産スルモ英國其他歐洲諸國ニ輸出スルコト頗ル容易ニシテ其販路ノ定常

ナルコト小麥其他ノ穀類ト異ナルコトナシ

余ノ前ニ列擧シタル地方ニ於テハ「ホップス」ノ繁茂セザルトコロナク小規模ニ此業ヲ起スニハ凡五百弗ノ資本ニテ着手スルヲ得ベシ

又當州中鑛業材木漁業ノ地方ニ於テハ斷ヘズ豚肉ヲ需用スルニヨリ豚ヲ飼育シ其肉ヲ販賣スルコト常ニ收益多カルベシ豚飼養ノ好食料タル苜蓿及豆類ノ生産ハ極メテ當州ノ風土ニ適當セリ

今試ニ豚飼育ノ事ヲ一言センニ其良方ハ先ヅ二月生産ノ良種ヲ撰ミ牝豚ヨリ引離シ得ル程ニ生長スルヤ否鼻頭ニ一輪ヲ加ヘ苜蓿圃ノ小廓内ニ放チ廓内ノ苜蓿ヲ食ヒ盡セバ更ニ他ノ一廓内ニ移シ前者ノ苜蓿再ビ繁茂スルニ便セシムベシ此方法ニヨリ春夏ノ間ニ豚兒ハ速ニ生長スベシ秋期ニ至リ一二ケ月ノ間擦潰シ又ハ糞タル豆類ト他ノ蔬菜ヲ以テ飼育スレバ一頭ニ付上等ノ豚肉二百乃至二百五十封度ヲ得若シ適當ニ鹽漬若クハ乾燥等ノ保存方ヲ加フレバ一封度ニ付キ拾仙乃至拾貳仙ニ賣却スルヲ得ベシ今假リニ一農家二十「エーカー」ヲ有スルトスレバ前記ノ方法ニヨリ年々四五十頭ノ豚ヲ賣却シ且多量ニ其他ノ産物ヲ收穫スルヲ得ベシ(譯者云「エーカー」ノ苜蓿圃ハ五六頭ノ豚ヲ飼養スルニ適セリト云フ)

適當スルハ既ニ前ニ述ベタル通りニシテ其起業ニ要スル資本額ハ規模ノ大小ニヨリ百弗以上千弗ニ至ルベキモ「エーカー」ノ土地ヲ以テ之ヲ經營セントスルニハ五百弗ニテ十分ナルベシ

當州ニ於テハ農業以外ニ收益多キ産業現今少ナカラズ將來ニ於テハ益増進スベキナリ今左ニ重要ナル者ヲ列擧セン

第一 鮭漁及鮭罐詰業ハ創始以還格外ノ收益ヲ當業者ニ與ヘタリ今商工業會議所ノ報告書ヲ進呈セントス就テ一覽セバ該業ノ驚クベキ發達ヲ了得セラルベシ余ハ該業ノ利益甚ダ大ニシテ當業者ノ倖運ニ會フモノ多キヲ聞ク未ダ曾テ該業創始以還不幸ノ失敗ヲ蒙リタルモノアルヲ聞カザルナリ又信ズベキ筋ヨリ聞クトコロニヨレバ僅カニ一年ニ二三月間ノ一漁期中ニ創業ノ爲メニ用ヰタル資本ノ全額ヲ回收シタルノ實例アリ固ヨリ以テ常例トナスベカラズト雖モ該業ノ收益多キコトヲ知ルニ足ルベシ

鮭罐詰ノ創業費ハ規模ニヨリ壹萬弗乃至三萬弗ノ資本ヲ要スベシ一罐詰所ノ一漁期産額ハ壹萬函ヨリ五萬函譯者云フ一箱ハ壹封度入ノ罐詰四十八個ヲ入ル(壹函ノ代價ハ平均四弗ナルニヨリ四萬弗ヨリ二十萬弗ナルベシ該業ノ發達頗ル迅速ニシテ其産額ノ巨大ナルコトハ商工業會議所ノ報告書ノ示ストコロナリ又加奈陀及合衆國ノ東部ニ於テ生鮭ノ需用ハ殆ンド無限ニシ

テ之ヲ氷詰ニシテ回送スルコト一大厚利ノ業タラントス若シ濠洲ノ肉類輸出ノ方法ヲ用ヰバ冷室ヲ備フル船車ニヨリ英國其他歐洲諸國へ輸出スルコトヲ得ベシ

譯者云探檢者ガ商工業會議所ノ報告書ニヨリ示サントスルモノハ罐詰業創始以來産額ノ巨大ナルト其増進ノ迅速ナルノ二件ナリトス依テ便覽ノ爲メ左ニ之ヲ轉載スベシ

鮭罐詰業創始以還産額一覽表

明治九年	全	九、八四七	明治十八年	全	一〇八、五一七
全	十	六七、三八七	全	十九	一六一、二六四
全	十一年	一一三、六〇一	全	廿	二〇四、〇八三
全	十二年	六一、〇九三	全	廿一年	一八四、〇四〇
全	十三年	六一、八四九	全	廿二年	四一四、二九四
全	十四年	一七七、二七六	全	廿三年	四〇九、四六四
全	十五年	二二五、〇六一	全	廿四年	三一四、八九三
全	十六年	一九六、二九二	全	廿五年	二二八、四七〇
全	十七年	一四一、二四二	全	廿六年	六〇七、八五二

第二 建築用材製造業ニ於テハ一兩年來市況沈滞シ居リシニ當春以來大ニ

回復シ遠カラズ一大厚利ノ業タラントスルノ勢アリ其起業費即チ建物器械
 及二十年間ノ製造ニ用ユベキ立木買收ノ總費額ハ二萬弗乃至二萬五千弗ニ
 テ事足ルベシ當地該製造所ノ内之ヨリ多額ノ資本ヲ投シタルモノ多ケレド
 モ或ハ判斷ヲ誤リ或ハ管理ノ法ヲ失シテ徒費シタル金額少カラズ當業ニ於
 テハ規模ノ壯大ナルモノヨリ寧ロ中庸ニシテ一日二萬五千乃至三萬五千呎
 (譯者云木材壹呎トハ壹英寸ノ厚サニテ壹英尺平方ノモノヲ云フ)即チ一年七
 百萬乃至壹千萬呎ヲ製造シ得ベキモノ最モ收益厚シトス余ハ建築用材製造
 ノ業ニ從事シタルコト三十年餘製造所ヲ創立シタルモノ十三ヶ所其業務ハ
 細大解セザルナシ而シテ余ノ經驗ニ據レバ規模壯大ノモノハ放資ノ利子嵩
 ムノミナラズ火災ニ遭テ蒙ルベキ損失巨大ニシテ且用材製造費モ低廉ナル
 能ハズ得失相償ハザルモノナリ

當州ニ於テ立木ヲ買收セント欲セバ今日ハ前後無比ノ好時機ナルベシ當地
 樹林ノ所有者ハ多クハ射倖的ニ買收シタルモノ今ヤ相當ノ價格ヲ以テ賣却セ
 ントスルモノ多キガ故ニ樹林ノ賣物ニテ廉價ノモノ頗ル多シ官有樹林ノ面
 積モ頗ブル廣濶ニシテ壹エーカーニ付年額拾仙伐材千フート毎ニ五十仙ノ
 料金ヲ納ムレバ其立木ヲ伐取スルノ許可ヲ得ラルベク其期限ハ二十年乃至
 三十年間ナリ抑モ當州建築用材業ハ尙ホ幼稚ニ屬シ早ク創立シタル會社内

ニ於ケル製造方法ハ甚ダ失費多シ若シ近年改良ノ器械ヲ用非管理ノ方法ヲ
 全カラシメバ大ニ製造費ヲ省キ利益ヲ厚カラシムルヲ得ベシ

若シ貴國人先ヅ貴國內ニ行ハル、建築用材ノ長短厚狹木質等ヲ調査シ當地
 ニ渡航シ現今價格最低ノ時ニ際シ立木ヲ買收シ近年改良ノ製造方法ニ依リ
 勞力及材木ヲ節約シ得ベキ製造所ヲ創立セバ初年ニ於テ二割乃至二割半ノ
 利益ヲ收メ次年ヨリ其歩合ヲ増加シ得ベキコトハ余ノ信シテ疑ハザル所ナ
 リ若シ貴國人ニシテ此業ニ關スル事項ヲ審査セントスルモノアラバ余ハ喜
 ンデ詳密ニ其疑問ニ答辨スベシ而シテ該業ノ收益ハ現今當地製造家ノ收得
 スル高ニ倍増シ得ベキコトヲ示スハ余ノ毫モ躊躇セザル所ナリ

第三 採炭業モ當州重要ナル産業ノ一ニシテ今ヤ其採掘年額百萬噸ニ達シ
 坑夫其他勞働者ヲ用ルコト數千人譯者云昨年十二月現在三千八百四十四人
 余ハ以謂ク其産額ハ五年乃至十年ノ内ニ倍増スベク隨テ貴國坑夫及勞働者
 ノ需用ヲ増加スベシ

第四 小舟漁業モ亦當州産業ノ重要ナル一科タラシトスレバ數千ノ漁夫此
 業ニ從事スルヲ得ベシ抑モ支那人ニ對スル反抗ノ感情ハ頗ル強シト雖モ日
 本人ニ對シテハ別ニ嫌惡ノ感情ナキガ故ニ多數ノ日本人之ニ從事スルヲ得
 ベキナリ

第五 當州ノ鑛業ハ今ヤ再ビ重ヲ加ヘントス殊ニ今年金鑛採掘ノ再興ハ二
 十年來ノ盛事ニシテ金坑ノ數速ニ増加シツ、アレハ之ニ用ユベキ資本ノ高
 坑夫ノ數亦増進スベク隨テ金ノ產出額ヲ増スコト疑ヲ容ルベカラズ抑モ當
 州ニ於テハ只其一部ヲ試掘シタルニ過キザル金ノ鑛田甚多シ余ハ當州ノ大
 部分及合衆國鑛產諸州ノ過半ヲ旅行觀察シタリシガ北米大陸中當州ハ最モ
 金銀石炭鐵鉛錫銅其他ノ鑛物ニ富メル土地ナルコトヲ信ゼリ
 銀鑛ノ採掘ハ今ヤ頗ブル沈靜ナレドモ若シ一旦銀ノ價格定マラバ當州ハ世
 界銀產國ノ一ニ列スベシ

余ハ自身當州「クートネ」地方ノ銀鉛銅鑛一百以上ヲ勘査シ北米大陸中他所
 ニテ見タルモノヨリハ一層價值多キ鑛物ヲ見タリ實ニ當州ハ鑛物頗ブル豐
 富ニシテ開發ノ爲メニ要スル所ノモノハ資本起業家及市場ノ三者ナリ余ハ
 以謂ク多數ノ日本人當州鑛山ニ於テ備役ヲ見出スノ日遠キニアラザルベシ
 今ヤ支那人ノ當州鑛山ニ働キ居ルモノ數千人而テ望ヲ日本勞働者ニ屬シ彼
 ナ捨テ此ヲ取ラントスルモノ多シ

現今日本人ニ對シ當州人民ノ感情ハ如何又今後多數ノ日本人當州
 ニ移住スルニ至ラバ如何ナル意嚮ニ傾クベキヤ
 此問題ニ關シテハ余ハ前ニ之ニ言及シタル所モアリタリ日本人ハ平和ヲ好

ニ法律ニ遵ヒ當國ノ風俗習慣ヲ採用シ我商賈ト賣買取引スルニヨリ我人民
 ハ彼等ヲ親愛セリ然レモ多數ノ移民一時ニ渡來スルハ或ハ得策ニアラザル
 ベシ故ニ初メハ三十乃至五十ノ家族ヲ送り其土着ヲ待テ順次渡航セシムル
 ニ若カザルベシ勿論我良民ノ反抗ヲ受クベキ恐レハナケレドモ多數ノ移民
 一時ニ渡來スルアラバ勞働者流中ニ僻見ヲ生ズルノ虞ナキニアラザレバナ
 リ日本人ニシテ土地ノ開墾樹林鑛坑若クハ漁場ノ仕事ニ付當國執業ノ方法
 ニ慣熟スルトキハ頗ル有用ニシテ彼是ノ利益タルベキコトハ余ノ喜ンデ認
 識スル所ナリ當州ハ新開地タリ之ヲ開發センガ爲メニ勤勉着實ノ良民ヲ要
 スルヤ言ヲ俟タズ

譯者云本件ニ關スル余ノ意見ハ總況中ニ之ヲ記述セリ參照ヲ請フ

本文譯述スル所ト相違スルモノハ何ゾヤ曰ク他ナシ余ハ中等以下多數勞
 働者ノ感情ヲ主トシテ說ヲ立テ探檢者ハ資本家事業家等ノ側ヨリ見解シ
 タレバナリ

殖民地開設ノ計算

第一例 「デルタ」若クバ「リチモンド、ミュー」ニシバリナ「丙三百エーカー」
 ノ土地ヲ買入レ農業殖民地ヲ開設スル費用
 一米金貳萬壹千弗
 改良地參百「エーカー」買入代價壹「エーカー」七十弗

ノ見込

一米金七百弗

參百エーカ一ヲ三十耕區ニ別テ每區ノ周邊ニ木

柵建設費

一米金參千六百弗

住家三十戸新築費但每戸間口十六呎奥行二十四

呎ニシテ三室ヲ設クル見込一戸ニ付百二十弗宛

一米金貳千四百弗

物置廐舍三十棟新築費間口二十四呎奥行三十四

呎壹棟八十弗宛

合計米金貳萬七千七百弗

開設費總額

一米金參萬六千六百弗

三十耕區及付屬建物賣却代各千貳百廿弗宛

但十ヶ年賦年利八朱

内米金貳萬七千七百弗

開設費總額引去

殘米金八千九百弗

資本金元利以外ノ益金

第三例 移住者ノ損益計算

支出計算

一米金壹千貳百貳拾弗 土地壹耕區(エーカ一)附屬建物共代但十ヶ年

賦拂

一米金百弗 農馬及馬具共代

一米金八拾弗
一米金四拾弗
一米金貳拾弗

荷車及農具共代

家畜買入代

家具買入代

合計米金千四百六拾弗

收入計算

一米金八百弗

初年馬鈴薯葱胡蘿蔔燕菁亞米利加防風赤大根セ

ルリ其他蔬菜賣上代

一米金千五百貳拾弗

第二年農產物賣上代

内 譯

一米金五百弗

壹エーカ一付付覆盆子產額五千籠壹籠ニ付拾仙

宛

一米金六百弗

五エーカ一付付馬鈴薯產額每壹エーカ一拾噸壹

噸代拾二弗宛

一米金壹百貳拾弗

壹エーカ一付付胡蘿蔔產額二十噸壹噸代六弗宛

一米金壹百五拾弗

壹エーカ一付付燕菁產三十噸一噸代五弗宛

一米金壹百弗

壹エーカ一付付小菓實類

一米金五拾弗

蕎秣又ハ燕麥壹エーカ一ヨリ收穫代

又耕作及管理ノ方法宜シキヲ得バ第三年日ヨリハ每壹「エーカー」百五拾弗乃至貳百五拾弗ノ菓實又ハ蔬菜等ヲ生産スルニ至ラシムルヲ得ベシ
譯者云當方拾「エーカー」ノ耕地ニテ前記諸種ノ農作物ヲ栽培收穫スルニハ夫婦二人子女三四人ノ手傳アリ即チ五六人ノ勞力ヲ用ユルヲ常トスト云フ

第三例 「ラングレイ」若クバ「ナリワック、ミューニシバ、チ」ニ於テ土地三百

「エーカー」ヲ買入レ殖民地ヲ開設スル費用

一米金壹萬六千五百弗 改良地三百「エーカー」買入代但壹「エーカー」五十五弗宛ノ見込

一米金七百弗 三百「エーカー」ヲ三十耕區ニ分チ每耕區ノ周邊ニ木柵建設費

一米金參千弗 住家三十戸新築費但各間口十四呎奥行二十呎ニシテ各百弗宛ノ見込

一米金貳千百弗 物置及廐舎三十棟新築費但各間口二十呎奥行三十呎ニシテ各七十弗宛ノ見込

一米金參萬六千弗 合計米金貳萬貳千參百弗 開設費總費用 三十耕區付屬建物共賣却代各千貳百弗十ヶ年賦

年利八朱

内米金貳萬貳千參百弗 開設費引去

殘米金壹萬參千七百弗 資本金元利以外ノ益金

第四例 「ラングレイ」若クバ「スア、ルリー、ミューニシバリチ」ニテ疎林參百「エ

ーカー」ヲ買入殖民地ヲ開設スルコト

一米金參千弗 參百「エーカー」ノ疎林買入代但壹「エーカー」拾弗宛ノ見込

一米金四千五百弗 右疎林賣却代土「エーカー」百五十弗ノ割十ヶ年賦年利八朱

引殘米金千五百 益金

右ハ疎林地ノ儘賣却シ移民ヲシテ住家物置等ヲ建テ木ヲ伐リ地ヲ墾キ木柵ヲ造ラシム疎林壹「エーカー」開墾ノ實費ハ其難易ニヨリ五弗乃至廿弗ナルベシ

建築用材製造會社創立費計算但壹日二萬呎製造ノ力量トス

資本金額ヲ五萬弗トシ其用途左ノ如シ

一米金貳千弗 水邊ニ於ケル製造所敷地買入代
一米金壹千弗 波止場一式建設費

一米金壹千弗 建物新築費
 一米金七千弗 器械買入据付共
 一米金貳萬五千弗 丸木五百萬呎買入代但製造所持込ニテ一千呎ニ付五弗宛
 一米金七百弗 牛馬舟楫買入代
 一米金參百弗 丸木繫留用抗及鏈買入代
 一米金壹萬弗 壹年間事業費
 一米金貳千弗 貳萬五千弗即チ資本ノ半額ニ對スル利子年八朱ノ割但製品ノ一部ハ年度前半期ニ賣却シ得ベキニヨリ資本半額ニ對シテ利子ヲ計算セリ

合計米金四萬九千弗
 一米金五萬五千弗 建築用材五百萬呎賣却代壹千呎平均拾壹弗宛
 內米金四萬九千弗 引去
 殘米金六千弗 敷地器械其他創業資金壹萬壹千弗仕拂ノ上得ベキ益金

譯者云此計算ハ其利益過多ニ失スルモノ、如シ探檢者ハ當事業ニ於テ三十余年ノ經驗アリト云ヘバ固ヨリ據ル所アリテ算出シタルコトハ疑ナケ

レドモ右ノ計算ハ營業上萬般ノ事情企業者豫期ノ通り完全ニ運ビタルモノト假定シテ豫算シタルモノナルベシ故ニ當方ニ於テ實地此業ニ從事セシコトヲ企ツルトキハ更ニ現今營業シ居ル諸會社實地經驗ノ事蹟ヲ調査シ參照スルヲ可トス

又云當晚香坡市ニテ「モントリオル」罐詰會社發起人ヨリ發行シタル鮭罐詰業ノ目論見計算書ヲ探檢者ヨリ提出セリ之ヲ譯述スレハ左ノ如シ

鮭罐詰會社創業費及初年事業費

一米金貳千五百弗 土地買入波止場其他新設費
 一米金六千弗 罐詰所建物新築費
 一米金六千弗 器械買入附屬舍建設等ノ費用
 一米金壹萬貳千弗 罐製造用錫及鉛買入代
 一米金參千弗 小舟網及漁業免狀
 一米金貳萬弗 生魚買入代
 一米金壹萬弗 支那人勞動者賃銀
 一米金參千弗 白人勞動者賃銀
 一米金五百弗 薪炭其他
 一米金四千弗 諸雜費臨時費等

合計米金六萬七千弗

收入及損益計算

一米金八萬六千弗

罐詰鮭初年ノ産額貳萬函代壹函四弗參拾仙ノ見込

内米金四千參百弗

販賣人手數料其他費用引去

殘米金八万千七百弗

米金壹万五千七百五十拾弗 建築器械其他固定資本但外ニ千七百五十弗

即新設費ノ一割消耗セルモノトシテ引去

右二口合計米金九萬七千四百五十弗

初年々末資産總額 創業費及初年事業費總額引去

内米金六萬七千弗

殘米金參萬四百五十弗 純益

上記ノ計算ハ客年「フレザ」川諸罐詰所ニ於テ收支シタル實地ノ經歷ニ據リタルモノニシテ其金額ハ深ク注意ヲ加ヘ支出豫算ハ十分ニ見積リ出來得ル丈ケ精密ニ調査シタルモノナリ云々

譯者云更ニ筆ヲ探檢者ノ報告書ニ轉ズベシ

前ニ列舉シタル地方ニ於テ穀類根菜菓實等壹「エーカー」ノ産額及其價格

ハ左ノ如シ

小	麥	每壹「エーカー」壹噸乃至壹噸半	每壹噸	參	拾	弗
燕	麥	全	上	全		上
大	麥	壹噸乃至壹噸四分ノ三	全	全		上
豆	類	壹噸乃至貳噸	全	參	拾	弗
ホ	ソ	千封度乃至千五百封度	每壹封度	拾	五	仙
ホ	ソ	貳噸半乃至四噸	每壹噸	拾	弗	乃至拾貳弗
馬	鈴	七噸乃至十四噸	全	拾	貳	弗
燕	菁	貳十噸乃至三十噸	全	七	弗	乃至十弗
胡	蘿	十五噸乃至廿五噸	全	八	弗	乃至十二弗
赤	大	十噸乃至十五噸	全	十	弗	乃至貳拾弗
玉	菜	千	五	百	株	每壹株
花	椰	全	上	全		上
林	檜	百	株	植付後三年ヲ經レバ收穫百弗乃至二百弗		
李	全	百	株	植付後三年ヲ經レバ收穫百弗乃至二百弗		
梅	全	百	株	植付後三年ヲ經レバ收穫百弗乃至二百弗		
櫻	全	百	株	植付後三年ヲ經レバ收穫百弗乃至二百弗		
覆	盆	全	上	全		上
子	全	全	上	全		上

植付後一年ヲ經レバ收穫每壹「エーカー」四百弗乃至七百弗

ラスペベリース	植付後二年ヲ經レバ收穫每壹「エーカー」二百弗乃至三百弗
ブラックベリース	全 上 全 上
グースベリース	全 上 全 上
牛 肉	上肉下肉平均壹封度 八 仙
豚 肉	全 上 九 仙
羊 肉	全 上 十 仙
バター	新鮮年中平均壹封度 三十 仙
ナース	全 上 十五 仙
鶏 卵	全 上 十二個 三十 仙
鶏	壹對 平均 七十五 仙
グー ス	壹 羽 壹弗七十五 仙
七面鳥	全 上 貳 弗

余ハ既ニ貴下ヨリ交付セラレタル諸問題ニ答ヒ更ニ問題以外若干ノ報告ヲ附加シタリ右ハ余ノ力ノ及ブ限リ十分ニ調査シタルモノナリ而シテ余ハ「デルタ」「リナモンド」「アガシズ」及「ナリワック」等ノ諸邑へ貴下全伴ノ光榮ヲ有スルガ故ニ貴下ハ眼界ノ及ブ限リ余ノ報告ノ當否正誤ヲ判斷シ得ベキ地位ニ居ルコトヲ信ズルナリ貴下若シ尙ホ詳密ノ調査ヲ要スルコトアラバ微力ノ及ブ

限リ更ニ十分ノ調査ヲ遂ゲテ報告スベシ余ハ鑛業、鋸材業、請負業、農業及當國ノ政治ニ於テハ多年自ラ經驗シタルニヨリ右ニ關シ貴下ノ疑問ニ答フルハ最モ余ノ喜ブトコロナリ又前文諸報告調査ニ付余ハ左ニ列記スル人士ノ意見ヲ聽キタリ

- 「スクァミン」平野探査ニ付 「マクギー」「シヤンノン」及「マラフトン」ノ三氏
- 「デルタ、ミュー」ニシバリチー 「ラドナール」「ハチャルソン」「マニリー」「カルクランド」及「バタソン」ノ五氏
- 「リナモンド、ミュー」ニシバリチー 「セクススミス」「キッド」「ガネット」及「ステワルド」ノ四氏
- 「ナリワック、ミュー」ニシバリチー 「キップ」「ウェルス」「リース」「ベイスレー」及「マッドナルド」ノ五氏
- 「アガシズ」 「シャープ」及「ヘンリー」ノ兩氏

前記人士中貴下ノ面會シタル人モ少カラザレバ其人々ノ如何ナル人物ナルヤハ御承知ノ通りニテ余ハ右諸氏ハ前記地方中ノ名士ナリト信ズルナリ余ハ此報告貴下ニ満足ナランコトヲ希望ス

千八百九十四年四月廿五日
 英領哥倫比亞州晚香坡市
 ウリアム、マクレネー
 在晚香坡日本領事館事務代理清水精三郎殿

限り更ニ十分ノ調査ヲ遂ゲテ報告スベシ余ハ鑛業、鋸材業、請負業、農業及當國ノ政治ニ於テハ多年自ラ經驗シタルニヨリ右ニ關シ貴下ノ疑問ニ答フルハ最モ余ノ喜ブトコロナリ又前文諸報告調査ニ付余ハ左ニ列記スル人士ノ意見ヲ聽キタリ

「スクァミシ」平野探査ニ付 「マクギー」シヤンノン及「マラフトン」ノ三氏
「デルタ、ミュー」ニシバリナー 「ラドナール」ハチャルソン「マニーリー」カルクランド及「バタソン」ノ五氏
「リナモンド、ミュー」ニシバリチー「セクススミス」キッド「ガネット」及「ステワルド」ノ四氏
「ナリワック、ミュー」ニシバリナー 「キップ」ウェルス「リース」ペイスレー及「マッドナルド」ノ五氏
「アガシズ」 「シャープ」及「ヘンリー」ノ兩氏

前記人士中貴下ノ面會シタル人モ少カラザレバ其人々ノ如何ナル人物ナルヤハ御承知ノ通りニテ余ハ右諸氏ハ前記地方中ノ名士ナリト信ズルナリ余ハ此報告貴下ニ満足ナランコトヲ希望ス

英領哥倫比亞州晚香坡市

ウリアム、マングレネー

千八百九十四年四月廿五日

在晚香坡日本領事館事務代理清水精三郎殿

39
68

明治二十七年八月廿一日印刷

明治二十七年八月廿一日發行

印刷兼發行者

外務省通商局第二課

